

## 特別支援知肢病 専門問題例

**例 1** 次の文は、「学校教育法施行令第二十二條の三」に示されている障がいの程度の一部である。( a )～( f )にあてはまる語句を書きなさい。

知的障害者	一 知的発達遅滞があり、他人との( a )が困難で日常生活を営むのに頻りに( b )を必要とする程度のも 二 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、( c )への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が( d )の使用によつても歩行、筆記等日常生活における( e )な動作が不可能又は困難な程度のも 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の( f )観察指導を必要とする程度のも

(令和元年度)

**例 2** 次の文を読んで、(1)～(4)の問いに答えなさい。

知的障がいがある中学部5名の生徒に「( a )指導」の一つである(イ)生活単元学習の時間を使って買い物学習の練習を行っている。知的障がいがある生徒は、学習によって得た知識が断片的になりやすく応用されにくいいため、(ロ)適切な実態把握を行い実際の生活場面や体験を通して学習を進めている。

- (1) ( a )にあてはまる語句を書きなさい。
- (2) 下線部(ア)はどのように定義されているか説明しなさい。
- (3) 下線部(ア)の指導計画作成に当たって考慮する点を3つ書きなさい。
- (4) 下線部(イ)のように、知的障がいの実態を適切に把握するためのポイントを5つ書きなさい。

(令和元年度)

**例 3** 次の文は、「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」(文部科学省平成15年3月)「第2章 今後の特別支援教育の在り方についての基本的な考え方」「1 特別支援教育における基本的視点」の一部である。( a )～( e )にあてはまる語句を書きなさい。

特別支援教育とは、これまでの( a )の対象の障害だけでなく、その対象でなかったLD、ADHD、( b )も含めて障害のある児童生徒に対してその一人一人の( c )を把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、( d )や学習上の困難を( e )又は克服するために、適切な教育を通じて必要な支援を行うものと言うことができる。

(令和2年度)

**例 4** 次は「てんかん」について説明した文章である。( a ) ～ ( h ) にあてはまる最も適切な語句を《語群》から選び、記号で答えなさい。

てんかんとは、発作的に脳の神経細胞に異常な ( a ) 的興奮が起こり、その結果、意識、運動、感覚などの突発的な異常を来す病気である。最近では、( b ) 検査により精密に診断され、大部分のてんかんは、継続して ( c ) することにより発作をコントロールすることができる。

てんかん発作には、突然意識を失い、口を食いしばり、全身を硬くする ( d ) 発作や、全身の筋肉の緊張が低下・消失するために崩れるように倒れる ( e ) 発作、数十秒にわたり意識がなくなるが、けいれんを起こしたり倒れたりしない ( f ) 発作などがある。発作が 5 ～ 10 分間以上続く場合はてんかん ( g ) 状態として判断する。なお、発作がおさまったら、体を ( h ) などの対応を行う。

《語群》

ア 慢性疾患	イ 間代	ウ 横に向ける	エ 電気
オ 脱力	カ 血液	キ 重度	ク 重積
ケ 強直	コ 押さえつける	サ 機能	シ 重篤
ス 訓練	セ 欠神	ソ ミオクロニー	タ 脳波
チ 服薬			

(令和 2 年度)

**例 5** 次の (1) ・ (2) の問いに答えなさい。

- (1) 平成 29 年 4 月に告示された特別支援学校小学部・中学部学習指導要領は、「生きる力」を子供たちに育むために、学ぶ意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の改善を引き出していくことができるようにするため、全ての教科等の目標や内容を三つの柱で再整理している。この三つの柱は何か書きなさい。
- (2) 愛着障がいとは何か説明しなさい。

(令和 3 年度)

**例 6** 次の文は、平成 31 年 2 月に告示された特別支援学校高等部学習指導要領「第 6 章 自立活動 第 3 款 個別の指導計画の作成と内容の取扱い」の「1」の一部である。( a ) ～ ( f ) にあてはまる語句を書きなさい。

1 自立活動の指導に当たっては、個々の生徒の障害の ( a ) や ( b ) 及び心身の ( c ) の段階等の的確な ( d ) に基づき、指導すべき ( e ) を明確にすることによって、指導目標及び ( f ) を設定し、個別の指導計画を作成するものとする。

(令和 3 年度)

特別支援知肢病 正答例

問題番号		正 答 例
例 1	(a)	意思疎通
	(b)	援助
	(c)	社会生活
	(d)	補装具
	(e)	基本的
	(f)	医学的
例 2	(1)	各教科等を合わせた
	(2)	児童生徒が生活上の目的を達成したり，課題を解決したりするために，一連の活動を組織的・体系的に経験することによって，自立や社会参加のために必要な事柄を実際の・総合的に学習するものである。
	(3)	児童生徒の知的障がいの状態や生活年齢を踏まえたもの 身に付けた指導内容が現在や将来の生活に生かされること
		児童生徒がいろいろな単元を通して，多種多様な意義のある経験ができるように計画されていること
(4)	知的機能の程度 ----- 身辺自立の状況 ----- 社会生活能力 ----- 身体的状況 ----- 生育歴及び家庭環境	
例 3	(a)	特殊教育
	(b)	高機能自閉症
	(c)	教育的ニーズ
	(d)	生活
	(e)	改善

問題番号		正 答 例
例 4	(a)	エ
	(b)	タ
	(c)	チ
	(d)	ケ
	(e)	オ
	(f)	セ
	(g)	ク
	(h)	ウ
例 5	(1)	知識及び技能
		思考力，判断力，表現力等
		学びに向かう力，人間性等
	(2)	養育者との愛着が何らかの理由で形成されず，情緒面や対人面に問題が起こる状態
例 6	(a)	状態
	(b)	特性
	(c)	発達
	(d)	把握
	(e)	課題
	(f)	指導内容